

社会資本総合整備計画(街なみ環境整備事業)

だいせん
大山の歴史と景観を活かした街づくり

とっとりけん だいせんちょう
鳥取県 大山町

平成28年6月

社会資本総合整備計画（街なみ環境整備事業） 事後評価書

平成28年 6月 21日

計画の名称	1 大山の歴史と景観を活かした街づくり																																
計画の期間	平成22年度 ～ 平27年度 (6年間)				交付対象	鳥取県大山町																											
計画の目標																																	
大山隠岐国立公園の大自然の中に位置する当地区は、大山寺・大神山神社の参道に隣接し、西日本最大規模の大山スキー場を含む区域であるため、それらの地域資源を活用し、観光交流産業を中心とした地域経済の活性化をはかり、歴史的資産と自然環境とを融和させた景観の創出を行う必要があるため、それらに配慮した住環境整備を行う。																																	
計画の成果目標（定量的指標）																																	
- 歴史と自然を生かした住環境整備をおこない、地域における観光入り込み客数の増加を図る（55万人→60万人） - 道路美装化を行うことにより景観性を向上させ、また美装化により平坦性が確保され歩きやすい道路に整備し観光客など歩行者の安全性を向上させる。（L＝335m） - 建物の修景等を図り、歴史と自然に調和した街まみ景観の維持、向上（2件→20件）																																	
定量的指標の定義及び算定式																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光入り込み客数調査（観光商工課調べ）に基づき算出 (入り込み客数の増加率) = (評価時点の入り込み客数) / (H22当初の入り込み客数) (%)</td> <td>100.0%</td> <td>105.0%</td> <td>109.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>道路美装化の進捗状況により算出 整備率 (%) = 整備延長 (m) / 整備事業総延長 (m)</td> <td>0.0%</td> <td>75.0%</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物整備の実績により算出 (整備目標建物の整備率) = (整備実施件数) / (整備目標の建物の件数) (%)</td> <td>10.0%</td> <td>60.0%</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	観光入り込み客数調査（観光商工課調べ）に基づき算出 (入り込み客数の増加率) = (評価時点の入り込み客数) / (H22当初の入り込み客数) (%)	100.0%	105.0%	109.0%		道路美装化の進捗状況により算出 整備率 (%) = 整備延長 (m) / 整備事業総延長 (m)	0.0%	75.0%	100.0%		建物整備の実績により算出 (整備目標建物の整備率) = (整備実施件数) / (整備目標の建物の件数) (%)	10.0%	60.0%	100.0%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																													
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																														
観光入り込み客数調査（観光商工課調べ）に基づき算出 (入り込み客数の増加率) = (評価時点の入り込み客数) / (H22当初の入り込み客数) (%)	100.0%	105.0%	109.0%																														
道路美装化の進捗状況により算出 整備率 (%) = 整備延長 (m) / 整備事業総延長 (m)	0.0%	75.0%	100.0%																														
建物整備の実績により算出 (整備目標建物の整備率) = (整備実施件数) / (整備目標の建物の件数) (%)	10.0%	60.0%	100.0%																														
全体事業費	合計 (A + B + C)	238百万円	A	193百万円	B	45百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)																								
事後評価（中間評価）																																	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																																	
事後評価（中間評価）の実施体制																																	
<table border="1"> <tr> <td>・評価実施主体</td> <td>大山町</td> <td>事後評価（中間評価）の実施時期</td> <td>平成28年 6月</td> </tr> <tr> <td>・評価意見を求めた第3者</td> <td>該当なし</td> <td>公表の方法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・評価に活用した評価制度</td> <td>該当なし</td> <td colspan="2">大山町のホームページにおいて公表する。（http://www.daisen.jp/）</td> </tr> </table>											・評価実施主体	大山町	事後評価（中間評価）の実施時期	平成28年 6月	・評価意見を求めた第3者	該当なし	公表の方法		・評価に活用した評価制度	該当なし	大山町のホームページにおいて公表する。（http://www.daisen.jp/）												
・評価実施主体	大山町	事後評価（中間評価）の実施時期	平成28年 6月																														
・評価意見を求めた第3者	該当なし	公表の方法																															
・評価に活用した評価制度	該当なし	大山町のホームページにおいて公表する。（http://www.daisen.jp/）																															
1. 交付対象事業の進捗状況																																	
A 基幹事業																																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考																		
1-A1-1	住宅	一般	大山町	直/間	町/個人	大山アルペンライン地区街なみ環境整備事業	小公園の整備、修景施設整備（助成）、道路美装化、公共施設の修景整備、地区防災施設等の改修整備 面積：29.5ha	H22	H23	H24	H25	H26	H27	193																			
合計													193																				
B 関連社会資本整備事業																																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考																
1-B1-1	道路	一般	大山町	直接	大山町	道路改良	町道立ノ坂1号線改良事業	道路改良 L=260m×w6.0m	大山町	H22	H23	H24	H25	H26	H27	45																	
合計													45																				
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考																		
1-A1-1	道路の美装化工事に併せて、拡幅・改良整備を行うことにより、大型車輛の通行と観光客の安全を確保し、旅館街の更なる活性化を図る。																																

C 効果促進事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26	H27			
(該当なし)																		
										合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																		
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況						・町道立ノ坂1号線の美装化に合わせ、拡幅整備を行ったため街なみが明るくなり、バス車両の通行もスムーズになった。歩行者と車輻の擦れ違いのストレスもなくなった。 ・修景事業による街なみの統一感、ポケットパーク、案内板の整備により、散策空間としての印象が高まった。これは、来訪者の徒歩移動のストレス感が解消されるため、徒歩による行動範囲が広がることが期待される。併せて散策行動の誘因が高まり、大山寺参道に偏っていた動線が地域内全体に広がり、賑わい効果が高まった。これは滞在時間の延長効果も期待される。 ・グリーンシーズンに、冬季営業のレンタル店舗等が閑散とした印象を与えていたが、修景整備により明るい散策空間としての印象効果が高まった。また、スキー場付近にある店舗前には人通りが少なかったが、遊歩道やポケットパークの整備により人を向かわせる効果が上がった。												
II 定量的指標の達成状況		指標① (入り込み客数の増加率)		最終目標値	109.0% (55万人→60万人)	目標値と実績値 に差が出た要因	事業期間中に入込客数の算出の要素が変わってきており減少要因となっている。数字上は微増であるが、実質比較としては10万人程度の増加がある。 H18～H20の3カ年平均を当初基準数値とし、H25～H27の3カ年平均を実績値としている。											
				最終実績値	107.3% (54.6万人→58.6万人)													
		指標② (整備率)		最終目標値	100.0% (L=335m)	目標値と実績値 に差が出た要因	立ノ坂下1号線（もみの木通り）L=260m+立ノ坂下2号線（旅館うら通り）L=75m											
				最終実績値	100.0% (L=335m)													
		指標③ (整備目標建物の整備率)		最終目標値	100.0% (2件→20件)	目標値と実績値 に差が出た要因	個別物件ごとの事情による減あり											
				最終実績値	90.0% (2件→18件)													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						スキー客、団体客をメインとしていた店舗において、グリーンシーズンの個人客への営業取り組みが進んだ。												
3. 特記事項（今後の方針等）																		
住民による街なみ景観の維持・向上を続けていくため、協議会が引き続き運営されていく。																		

(図面) 社会資本総合整備計画（街なみ環境整備事業）

計画の名称	1 大山の歴史と景観を活かした街づくり	交付対象	鳥取県大山町
計画の期間	平成22年度 ～ 平27年度（6年間）		

